

技術提案書を特定するための評価基準

評価項目	評価の着目点				評価 ウェイト	
	判断基準					
予定管理 技術者の 経験及び 能力 ■14点	資格・実績等	資格要件	技術者資格等	技術者資格等、 その専門分野の内容	別紙2『技術提案書の提出者を選定するための基準』と同様。 なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	1
		専門技術力	業務執行 技術力	①同種業務の実績	別紙2『技術提案書の提出者を選定するための基準』と同様。 なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	7
				②下水道部門における 業務表彰実績の有無	別紙2『技術提案書の提出者を選定するための基準』と同様。 なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	2
		情報収集力	地域精進度	③当該地域の業務実績	別紙2『技術提案書の提出者を選定するための基準』と同様。 なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	4
小 計					14	
予定照査 技術者の 経験及び 能力 ■8点	資格・実績等	資格要件	技術者資格等	技術者資格等、 その専門分野の内容	別紙2『技術提案書の提出者を選定するための基準』と同様。 なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	1
		専門技術力	業務執行 技術力	①同種業務の実績	別紙2『技術提案書の提出者を選定するための基準』と同様。 なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	5
				②下水道部門における 業務表彰実績の有無	別紙2『技術提案書の提出者を選定するための基準』と同様。 なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	1
		情報収集力	地域精進度	③当該地域の業務実績	別紙2『技術提案書の提出者を選定するための基準』と同様。 なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	1
小 計					8	
予定担当 技術者の 経験及び 能力 ■8点	資格・実績等	資格要件	技術者資格等	技術者資格等、 その専門分野の内容	別紙2『技術提案書の提出者を選定するための基準』と同様。 なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	1
		専門技術力	業務執行 技術力	①同種業務の実績	別紙2『技術提案書の提出者を選定するための基準』と同様。 なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	5
				②下水道部門における 業務表彰実績の有無	別紙2『技術提案書の提出者を選定するための基準』と同様。 なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	1
		情報収集力	地域精進度	③当該地域の業務実績	別紙2『技術提案書の提出者を選定するための基準』と同様。 なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	1
小 計					8	
技術者分野計 (1次審査からの移行点=1次審査での評定点×0.5)					30	

評価項目	評価の着目点		評価 ウェイト	
		判 断 基 準		
ヒアリングにおける業務理解度等 ■15点	ヒアリング	業務理解度	目的、条件、内容の理解度が高い場合に優位に評価する。	5
		取組姿勢	提案した特定テーマに関する補足説明が明確で、取り組む意欲が強く感じられる場合に優位に評価する。	5
		その他	業務に関する知識、有益な代替案、重要事項の指摘がある場合に優位に評価する。 地域の実情を把握した上で、業務の円滑な実施に関する提案があった場合には評価する。	5
特定テーマに対する技術提案 ■50点	全体	評価テーマ間の整合性	相互に関連する複数の評価テーマ間の整合性が高い場合は優位に評価する。	5
	テーマ1	的確性	地形、環境、地域特性などの与条件との整合性が高い場合に優位に評価する。	5
			必要なキーワード（着目点、問題点、解決方法等）が網羅されている場合に優位に評価する。	
			事業の難易度に相応しい提案となっている場合に優位に評価する。	
	テーマ1	実現性	提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。	5
			提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている場合に優位に評価する。	
			利用しようとする技術基準、資料が適切な場合に優位に評価する。	
	テーマ1	独創性	工学的知見に基づく全く新しい提案がある場合に優位に評価する。	5
			周辺分野、異分野技術を援用した、高度の検討・解析手法の提案がある場合に優位に評価する。	
			複数の既存技術を統合化する提案がある場合に優位に評価する。	
	テーマ2	的確性	地形、環境、地域特性などの与条件との整合性が高い場合に優位に評価する。	5
			必要なキーワード（着目点、問題点、解決方法等）が網羅されている場合に優位に評価する。	
			事業の難易度に相応しい提案となっている場合に優位に評価する。	
	テーマ2	実現性	提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。	5
			提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている場合に優位に評価する。	
利用しようとする技術基準、資料が適切な場合に優位に評価する。				
テーマ2	独創性	工学的知見に基づく全く新しい提案がある場合に優位に評価する。	5	
		周辺分野、異分野技術を援用した、高度の検討・解析手法の提案がある場合に優位に評価する。		
		複数の既存技術を統合化する提案がある場合に優位に評価する。		
テーマ3	的確性	地形、環境、地域特性などの与条件との整合性が高い場合に優位に評価する。	5	
		必要なキーワード（着目点、問題点、解決方法等）が網羅されている場合に優位に評価する。		
		事業の難易度に相応しい提案となっている場合に優位に評価する。		
テーマ3	実現性	提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。	5	
		提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている場合に優位に評価する。		
		利用しようとする技術基準、資料が適切な場合に優位に評価する。		
テーマ3	独創性	工学的知見に基づく全く新しい提案がある場合に優位に評価する。	5	
		周辺分野、異分野技術を援用した、高度の検討・解析手法の提案がある場合に優位に評価する。		
		複数の既存技術を統合化する提案がある場合に優位に評価する。		
技術提案分野計			65	
見積金額（円） ■5点	業務コストの妥当性		5	
業務コストの妥当性			5	
合 計			100	